



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年11月9日

上場会社名 シチズン時計株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7762 URL https://www.citizen.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 戸倉 敏夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 広報IR室担当 (氏名) 古川 敏之 TEL 042-468-4934
 四半期報告書提出予定日 2018年11月12日 配当支払開始予定日 2018年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	154,406	0.7	10,959	△6.8	13,133	4.0	8,375	1.9
2018年3月期第2四半期	153,379	△0.9	11,763	10.1	12,626	52.8	8,220	56.6

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 15,106百万円 (2.8%) 2018年3月期第2四半期 14,692百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	26.32	—
2018年3月期第2四半期	25.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	436,242	274,355	60.6	830.76
2018年3月期	409,909	263,713	61.9	797.75

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 264,416百万円 2018年3月期 253,912百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	8.50	—	13.50	22.00
2019年3月期	—	10.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	330,000	3.1	25,000	0.3	26,500	△0.6	17,000	△11.9	53.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	320,353,809株	2018年3月期	320,353,809株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	2,069,722株	2018年3月期	2,068,553株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	318,284,751株	2018年3月期2Q	318,288,242株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、個人消費に力強さを欠く状況が続いているものの、景気は緩やかな回復基調を維持しました。また、米国経済は各国との貿易を巡る動向が懸念される中、設備投資と個人消費は堅調に推移しました。一方、欧州経済については、通商上の緊張感や政治の不確実性が高まり、景気回復ペースは緩慢なものとなりました。アジア経済は、中国市場の一部で弱い動きも見られましたが、全体的に底堅く推移し、回復傾向を維持しました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高1,544億円(前年同期比0.7%増)、営業利益109億円(前年同期比6.8%減)と、増収減益となりました。また、経常利益は131億円(前年同期比4.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は83億円(前年同期比1.9%増)とそれぞれ増益となりました。

(時計事業)

ウォッチ販売の内、“CITIZEN”ブランドの国内市場は、「CAMPANOLA」や「Eco-Drive One」等の高額品が引き続き堅調に推移しました。また、5月28日に迎えた創業100周年を記念したイベントが好評を博し、限定商品も好調だったものの、国内時計市場全体の需要は低価格帯を中心に依然として弱い動きとなりました。

海外市場においては、中国・アジア地域を中心に好調を維持した一方で、北米・欧州市場が弱含みの推移となり、海外市場全体では減収となりました。北米市場は、デパートや宝飾チェーンが復調の兆しを見せている他、インターネット流通も拡大が継続しているものの、新製品の販売時期のずれ等により伸び悩みました。欧州市場は、政治不安の高まりが個人消費にも影を落としており、減収となりました。一方、アジア市場は、好調な経済環境の後押しもあり順調に販売を伸ばし、特に中国は、安定した経済成長と個人消費の拡大により売上を伸ばしました。

マルチブランドについては、“BULOVA”ブランドが北米市場で堅調に推移した一方で、“Frederique Constant”ブランドが厳しい市況感等から伸び悩み、マルチブランド全体では減収となりました。

ムーブメント販売は、市場の回復に力強さがなく高付加価値商品の需要が伸び悩む等、厳しい環境が続いており、減収となりました。

以上の結果、時計事業全体では、新製品の積極的な投入や広告宣伝費の投資を加速してまいりましたが、完成品の国内市場および、ムーブメント市場の需要回復が想定に届いておらず、売上高は749億円(前年同期比3.3%減)と、減収となりました。営業利益においては、重点施策の一つである高価格帯製品が伸長しましたが、ムーブメント販売の低迷等を補うには至らず、55億円(前年同期比35.8%減)と、減益となりました。

(工作機械事業)

国内市場は、自動車関連の他、医療、建機、住宅設備関連など幅広い業種で設備投資が堅調に推移し、増収となりました。

米州市場は、医療関連を中心に旺盛な設備投資が継続し、増収となりました。

欧州市場は、ドイツで自動車関連等が堅調に推移した他、イタリアでも設備投資優遇税制の継続が確定となったことから市況は好調を維持し、増収となりました。

アジア市場は、中国で主要業種が全体的に堅調に推移した他、アセアン地域も自動車関連を中心に需要は底堅く、増収となりました。

以上の結果、工作機械事業全体では、国内外の好調な市況と当社グループの独自技術であるL F V(低周波振動切削)搭載機の販売増加が寄与し、売上高は353億円(前年同期比23.3%増)と、大幅な増収となりました。営業利益においても、好調な市況を背景とした大幅な売上増と高単価機種伸長を受け、68億円(前年同期比64.6%増)と、大幅な増益となりました。

(デバイス事業)

精密加工部品の内、自動車部品は、ブレーキ部品が自動車市場の需要拡大を受け、国内向けを中心に堅調に推移した他、スイッチについても前年度大きく落ち込んだスマートフォン向けが回復し、精密加工部品全体で増収となりました。

オプトデバイスの内、チップLEDは、車載向けが引き続き好調に推移した一方で、照明向けは過熱する価格競争に追随せず、差別化製品の提案に注力したことから売上は伸び悩み、オプトデバイス全体で減収となりました。

その他部品は、水晶デバイスがスマートフォン市場の低迷等を受け伸び悩んだ他、強誘電性液晶マイクロディスプレイも、主要市場であるデジタルカメラ市場の停滞の影響を受け、その他部品全体で減収となりました。

以上の結果、デバイス事業全体では、精密加工部品が売上を伸ばしたもののその他の製品の落ち込みを補うには至らず、売上高は315億円(前年同期比7.4%減)と、減収となりました。営業利益においては、収益を重視した販売戦略に注力したことから、15億円(前年同期比2.3%増)と、増益となりました。

(電子機器事業)

情報機器は、バーコードプリンターの新製品が好調に推移したものの、フォトプリンターがメディアおよび本体共に大きく落ち込んだこと等により、情報機器全体では減収となりました。

健康機器は、海外向けの内、アジアや米州、中国向けが伸長しましたが、国内向けの落ち込みを補うには至らず、減収となりました。

以上の結果、電子機器事業全体では、売上高は97億円(前年同期比4.9%減)と、減収となりました。営業利益においては、売上高は減収となりましたが収益改善に向けた取り組みが奏功し、1億円(前年同期比16.0%増)と、増益となりました。

(その他の事業)

宝飾製品は、自社主催展示会やプロパー販売のうちパール製品が善戦したものの、ブライダル販売の落ち込みが大きく減収となりました。

以上の結果、その他の事業全体では、主に宝飾製品の伸び悩みにより、売上高は28億円(前年同期比1.6%減)、営業利益は0億円(前年同期比49.6%減)と、減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ263億円増加し、4,362億円となりました。資産の内、流動資産は、たな卸資産が126億円、現金及び預金が50億円増加したこと等により、211億円の増加となりました。固定資産につきましては、投資有価証券が28億円、機械装置及び運搬具が12億円、建設仮勘定が7億円増加したこと等により、52億円の増加となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ、社債が100億円、未払費用が19億円、電子記録債務が16億円増加したこと等により156億円増加し、1,618億円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、為替換算調整勘定が46億円、利益剰余金が40億円、その他有価証券評価差額金が16億円増加したこと等により106億円増加し、2,743億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年8月9日の「2019年3月期第1四半期決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	92,079	97,103
受取手形及び売掛金	62,013	65,092
電子記録債権	914	1,094
商品及び製品	52,737	60,710
仕掛品	20,590	22,559
原材料及び貯蔵品	17,213	19,960
未収消費税等	2,413	1,936
その他	5,991	6,618
貸倒引当金	△957	△964
流動資産合計	252,997	274,110
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	41,784	41,876
機械装置及び運搬具(純額)	21,013	22,230
工具、器具及び備品(純額)	6,557	6,989
土地	10,293	10,383
リース資産(純額)	1,358	1,328
建設仮勘定	3,971	4,742
有形固定資産合計	84,979	87,550
無形固定資産		
のれん	4,356	4,277
ソフトウェア	3,940	4,145
リース資産	9	8
その他	3,744	3,590
無形固定資産合計	12,051	12,020
投資その他の資産		
投資有価証券	46,043	48,850
長期貸付金	931	988
繰延税金資産	9,583	9,328
その他	3,546	3,620
貸倒引当金	△199	△199
投資損失引当金	△26	△26
投資その他の資産合計	59,880	62,561
固定資産合計	156,911	162,132
資産合計	409,909	436,242

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,267	22,321
電子記録債務	14,164	15,800
設備関係支払手形	192	453
営業外電子記録債務	755	1,064
短期借入金	6,880	8,405
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	4,884	2,457
未払費用	13,509	15,452
賞与引当金	5,936	6,088
役員賞与引当金	279	—
製品保証引当金	1,159	1,186
環境対策引当金	22	16
事業再編整理損失引当金	822	522
その他	6,943	6,256
流動負債合計	86,818	90,026
固定負債		
社債	—	10,000
長期借入金	32,146	33,382
繰延税金負債	1,587	2,424
環境対策引当金	4	—
事業再編整理損失引当金	913	913
退職給付に係る負債	22,721	23,105
資産除去債務	74	74
その他	1,930	1,961
固定負債合計	59,377	71,861
負債合計	146,195	161,887
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,648	32,648
資本剰余金	34,000	34,019
利益剰余金	176,117	180,185
自己株式	△1,783	△1,773
株主資本合計	240,983	245,080
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,909	13,597
為替換算調整勘定	2,067	6,720
退職給付に係る調整累計額	△1,047	△982
その他の包括利益累計額合計	12,928	19,335
非支配株主持分	9,801	9,938
純資産合計	263,713	274,355
負債純資産合計	409,909	436,242

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	153,379	154,406
売上原価	93,486	94,524
売上総利益	59,893	59,882
販売費及び一般管理費	48,129	48,923
営業利益	11,763	10,959
営業外収益		
受取利息	181	251
受取配当金	424	526
持分法による投資利益	216	436
為替差益	468	783
その他	521	582
営業外収益合計	1,813	2,581
営業外費用		
支払利息	213	185
支払補償費	331	—
その他	405	221
営業外費用合計	950	407
経常利益	12,626	13,133
特別利益		
投資有価証券売却益	36	29
子会社株式売却益	14	—
固定資産売却益	334	8
その他	4	3
特別利益合計	390	41
特別損失		
固定資産除却損	122	255
固定資産売却損	13	9
減損損失	0	21
事業再編整理損	117	261
コンプライアンス特別対策費等	—	192
その他	63	329
特別損失合計	317	1,071
税金等調整前四半期純利益	12,699	12,104
法人税等	4,236	3,508
四半期純利益	8,463	8,595
非支配株主に帰属する四半期純利益	242	220
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,220	8,375

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	8,463	8,595
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,315	1,687
為替換算調整勘定	3,807	4,558
退職給付に係る調整額	93	66
持分法適用会社に対する持分相当額	12	197
その他の包括利益合計	6,228	6,510
四半期包括利益	14,692	15,106
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,421	14,782
非支配株主に係る四半期包括利益	270	323

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,699	12,104
減価償却費	6,679	6,671
のれん償却額	795	264
引当金の増減額(△は減少)	98	△494
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	441	398
受取利息及び受取配当金	△606	△778
支払利息	213	185
投資有価証券売却損益(△は益)	△36	△29
子会社株式売却損益(△は益)	△14	—
固定資産売却損益(△は益)	△321	0
固定資産除却損	118	236
売上債権の増減額(△は増加)	△3,013	△1,076
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,077	△10,716
仕入債務の増減額(△は減少)	6,062	1,215
その他	2,288	2,794
小計	15,326	10,775
利息及び配当金の受取額	607	776
利息の支払額	△212	△173
法人税等の支払額	△2,672	△6,168
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,048	5,210
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	83	30
有形固定資産の取得による支出	△7,855	△8,964
有形固定資産の売却による収入	1,315	445
無形固定資産の取得による支出	△583	△700
貸付けによる支出	△2	△58
貸付金の回収による収入	5	2
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	75	—
その他	△98	△367
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,060	△9,613
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	766	1,436
長期借入れによる収入	—	1,216
長期借入金の返済による支出	△9	△9
社債の発行による収入	—	10,000
配当金の支払額	△2,705	△4,296
非支配株主への配当金の支払額	△227	△136
自己株式の取得による支出	△1	△75
自己株式の売却による収入	0	74
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△199	△0
その他	△61	△546
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,437	7,662
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,608	1,468
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,157	4,728
現金及び現金同等物の期首残高	77,887	90,655
現金及び現金同等物の四半期末残高	83,045	95,384

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日 至2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	時計事業	工作機械事業	デバイス事業	電子機器事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
売上高								
外部顧客への 売上高	77,484	28,630	34,122	10,253	2,887	153,379	—	153,379
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	36	159	1,125	47	410	1,779	△1,779	—
計	77,520	28,790	35,248	10,301	3,298	155,159	△1,779	153,379
セグメント 利益	8,574	4,157	1,522	167	153	14,575	△2,811	11,763

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額△2,811百万円には、セグメント間取引消去1百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,813百万円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	時計事業	工作機械事業	デバイス事業	電子機器事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
売上高								
外部顧客への 売上高	74,908	35,307	31,597	9,752	2,840	154,406	—	154,406
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	48	840	1,034	56	450	2,431	△2,431	—
計	74,956	36,148	32,632	9,809	3,291	156,838	△2,431	154,406
セグメント 利益	5,506	6,844	1,557	194	77	14,179	△3,220	10,959

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額△3,220百万円には、セグメント間取引消去△174百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,046百万円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。